

公益財団法人 国際仏教文化協会
2021(令和3)年度事業報告



公益財団法人 国際仏教文化協会

当協会は、当協会定款第3条「大乘仏教の持つ現代的意義を究明し、欧州等の人々の研究に便宜を与え、東西文化の交流を図り、もって我が国の発展と国際平和に寄与することを目的とする」に基づき、「公益目的事業1」として、欧州等における大乘仏教の思想・文化・芸術等の振興活動に対する助成および同趣旨のシンポジウム・講演会等の開催及び支援を主事業とする。その趣旨は、欧州等における大乘仏教の思想・文化の振興に対する助成を通じ、これらの地域における大乘仏教の思想・文化への理解を深め、日本古来の精神文化の柱である大乘仏教の振興に資することである。当年度の事業は、令和3(2021)年度事業計画に基づいて具体的な事業を推進した。以下に、その事業推進の報告、及び事業推進にかかる協会運営等の概況、会議開催の概況等を報告する(それぞれの項末尾に決算(支出)額を概数で付記する)。

1. 公益目的事業(振興事業)

上記の通り、欧州等における大乘仏教の思想、文化、芸術の振興に対する助成を通じ、これらの地域における大乘仏教思想・大乘仏教文化の理解を深め、日本古来の精神文化の柱である大乘仏教の振興に資する事業として、研究助成(公募)、及び振興活動支援の事業を推進した。

ア 研究助成事業(大乘仏教の研究活動やその成果の出版等の費用、研究者の日本への留学費用等の助成によって振興を図る)

(イ) 欧州等において大乘仏教の研究・学習をしようとするものへの支援

① 欧州等において大乘仏教の研究・学習を進めようとする関係機関への活動支援

選考委員会で審議決定された選考結果に基づき計画通り[表1]のように、欧州等における各関係団体への支援を執行した(合計1,750,000円)。

② 仏教書印刷発行と普及：(a) 欧州等における関係機関での欧州語等による仏教書発行支援、および(b) 欧州等に向けての欧文仏教書の編集発行

(a) については、選考委員会で審査・選考し[表1]に記す各関係機関への支援助成および「出版等助成」の通り助成し、それぞれ成果を得た(560,000円)。

(b) について、欧文ジャーナル『Shin Buddhist』の第12号編集(当年度上半期には発刊できるよう作業進行)、第13号編集に取り掛かった。また、関係機関への挨拶と協会事業の啓蒙のために Season's Greetings と 2022 IABC Calendar を作成し、発送した(編集作業 874,138円、図書刊行費 1,056,000円)。

③ 機関誌発行

当協会の事業活動を支援する協力者や、協会活動に関心を持つ一般の者に向けて報告・啓蒙するために機関誌『IABC NEWS』を発行しているが、諸般の事情で年度内の発刊

が困難となり、次期（中葉）発刊を予定して編集作業を継続する。

(ロ)日本において日本の仏教文化・仏教芸術の習得を目指すものへの支援

- 1) 前年度に欧米からの受講希望者が相当数（10名以上）あることから浄土教による仏教入門講座が実施された。当年度は、予定なし。
- 2) 前項以外に、該当者なし。

(ハ)本邦の者で大乘仏教思想を広い視野から学ぶために欧州等において比較文化論・比較宗教論等の方面から研究・学習しようとするものへの支援

該当者なし。

〔表1〕欧州等の仏教関係機関への活動支援助成明細（含 出版助成・奨学助成）

助成対象(関係機関)	同 代表等	助成費額(円)	摘 要
ドイツ・シンサンガ	F. Kobs, M. Nottelmann, I. Evers	500,000	活動地は Anjin-Do など
英国・聴聞堂	G. Robinson	700,000	活動地は Chomon-House, Southampton
USA・Myoko-in	Diane Dunn	300,000	活動地は Oregon, USA
オーストラリア・Muryoko	John Paraskevopoulos	50,000	Online Muryoko
NCC 宗教研究所	宮庄哲夫, 京都	200,000	
関係機関への助成 合計		1,750,000	
出版・製作等助成			
ブラジル・ ロンドリーナ寺院	Rev. Marco Yasunaka	60,000	Immeasurable Life の ポルトガル語訳
日本・京都 一念寺	釋氏真澄『真宗国際伝道の研究』	500,000	
出版・製作等助成 合計		560,000	

イ 振興活動支援事業（大乘仏教の研究に関するセミナーやシンポジウムの開催に対する助成によって振興を図る）

(イ) 報告と講演の会：諸般の事情で開催が困難となり、次期に開催を予定するものとする。

(ロ) ヨーロッパ真宗会議開催の支援：欧州人等が行うセミナー・会議として、隔年開催のヨーロッパ真宗会議（大乘仏教の一つの極たる他力回向を説く真宗思想と大乘仏教の諸思想との対論等によって大乘仏教思想の理解を深め合い一般に啓蒙する会議：ESC と略称）を、2018年8月20～24日に、英国・サウサンプトンで開催、2018年度は、これを全面的に支援し、成功裡に終了したが、次回をドイツ・デュッセルドルフの恵光日本文化センターで2020年に開催予定であったが、2019年末から新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の世界的な蔓延に伴い、これを2023年以降に延期することとなり、2022年（9月）には、親交会の形でオンラインでの会合が企画され、その準備にあたった。

(ハ) 講師派遣：日本から大乘仏教の学識経験者を講師として欧州等に派遣する事業として、ドイツ・デュッセルドルフの恵光ハウス日本文化センターで毎年開催の仏教セミナーに講師派遣するという予定であったが、COVID-19の世界的な蔓延のため、ウェブ会議ツール「Zoom」による遠隔講義にて行うこととなり、米国の浄土真宗センターよりエリック・松本師の講義

を配信するという方式で行われた。その講座開催（ウェブ配信など）を支援し、世界各地からの聴講を得て盛会裏に終えることができた。（200,000円）

2. 協会運営：協会の庶務の概況

当協会の上記公益事業を推進するための協会体制及びその運営を、前期と同様に、次のような役員会、委員会等を組織して推進した。

ア 役員会等：理事会、評議員会、監事

役員等は、定款第14条「評議員 3名以上6名以内を置く」および第29条「この法人に次の役員を置く。(1) 理事 3名以上6名以内 (2) 監事 1名」に基づいて、役員会等の業務にあたった。なお、2021年度には任期満了に伴う役員選任が行われることとなる。

	氏名	初就任年月日	担当職務	報酬	備考
評議員	金児 慧	H25.04.01.	評議員会議長	無	本願寺派寺院住職
	江里 康慧	H25.04.01.	評議員	無	仏師
	寺井 良直	H25.04.01.	評議員	無	天台真盛宗寺院住職
理事	佐々木恵精	H25.04.01.	代表理事(理事長)	無	元京都女子大学教授
	柏原 信行	H25.04.01.	理事	無	真宗大谷派寺院住職
	高田 信良	H27.06.06.	理事	無	龍谷大学名誉教授
	宇佐美 直八	H29.06.23.	理事	無	(株)宇佐美松鶴堂取締役
監事	市田 龍	R01.06.20.	監事	無	公認会計士

(注記) 報酬について、無報酬を原則とするが、事務的業務が過重となった場合は、その報酬を供する。

イ 職員に関する事項

理事会等の業務にあたり、協会事務処理業務を下記体制で執行した。

職名	氏名	初就任年月日	担当業務	報酬	備考
事務局長	寺本 知正	H25.04.01.	事務・会計総括	無	(注記)
事務局次長	柏原 信行	H25.04.01.	事務局業務	無	(注記)
経理担当	佐々木朝美	H25.04.01.	経理業務	有	
	柏原 信行	H28.12.06.	経理業務	無	経理業務の確認作業

(注記) 報酬について、無報酬を原則とするが、事務的業務が過重となった場合は、その報酬を供する

ウ 委員会

理事会のもとに選考委員会、編集委員会、実行委員会を設置して、業務推進にあたった。

3. 会議に関する事項

ア 理事会

開催年月日時・会場	議案	審議結果
第1回定例理事会： 令和3(2021)年6月14日(月) 17:00~18:05		理事長は、会議(Web会議ツールZoomによる遠隔会議)への招集通知を理事らに電子通信(メール)送

遠隔会議にて		信、理事らは「Zoom」による会議に参加、理事長は、議長に就き、次の通り審議議案及び報告議案を理事に諮り、理事らは、いずれも承認及び了承した。
	<p>1. 令和2年度事業報告並びに決算及びその計算書類の承認の件</p> <p>2. 理事長の職務執行状況の報告の件</p> <p>3. 理事選任および監事選任を評議員会の議題とする件</p> <p>4. 固定資産の一部取り崩し運用の件</p> <p>5. 評議員会の招集の件</p>	<p>1. 令和2(2020)年度にて事業報告ならびに決算およびその計算書類の承認の件について、その資料を「Zoom」にて表示して提示、原案通りこれを承認可決。</p> <p>2. 理事長は、令和3年3月21日~令和3年5月31日の理事長業務報告書を「Zoom」にて提示し、理事らはこれを了承した。</p> <p>3. 議長は、理事選任および監事選任の時期にあたり、これを評議員会の議題とする件を議場に諮りたるところ、議場一致してこれを了承した。</p> <p>4. 議長は、固定資産運用について、資料に基づいてその一部取り崩しのないことを提示し理事らはこれを了承した。</p> <p>5. 議長は、定例評議員会を6月29日(火)に開催したい旨を説明、議場は一致して、これを承認した。</p>
<p>第2回定例理事会</p> <p>令和4(2022)年3月14日(月)</p> <p>18:00~19:00</p> <p>遠隔会議：ウェブ会議ツール「Zoom」にて</p>	<p>1. 令和4年度事業計画の件</p> <p>2. 令和4年度予算案の件</p> <p>3. 理事長業務執行状況の報告の件</p>	<p>理事長は、会議(ウェブ会議ツール「Zoom」による遠隔会議)への招集通知を理事らに電子通信(メール)送信、理事らは「Zoom」による会議に参加、理事長は、議長に就き、遠隔会議(Zoomミーティング)にて次の通り審議議案及び報告議案を承認可決、了承した。</p> <p>1. 令和4年度事業計画について、資料に基づき事務局長寺本知正に説明をさせ、これをウェブ会議ツール「Zoom」の議場に諮りたるところ、議場は慎重審議の結果、満場一致、これを承認。</p> <p>2. 令和4年度の事業の予算について資料に基づき事務局長寺本知正より説明し、これを同「Zoom」の議場に諮りたるところ、議場は慎重審議の結果、満場一致、これを承認。</p> <p>3. 理事長は令和3年6月1日~令和4年2月末日の理事長職務執行状況を資料に基づき議場に</p>

	4. 令和4年度 「資産調達及び設備投資の見込みについて」承認の件	報告し、議場はこれを了承した。 4. 議長は、表記議案を提示、その説明を事務局長寺本知正に説明させて、当期中、借り入れの予定も重要な設備投資の予定もないことを説明、これを議場に諮りたる処、議場一致してこれを了承。
--	--------------------------------------	---

イ 評議員会

開催年月日時・会場	議案	審議結果
第1回評議員会 令和3年6月29日(火) 17:00~18:20 遠隔会議(オンライン会議)	1. 議長の選任の件 2. 令和3年3月および令和3年6月開催の理事会審議報告の件 3. 理事長の業務執行状況報告の件 4. 令和2年度事業報告書の報告の件 令和2年度事業報告ならびに決算書類の承認	理事長提示にて会議(Web会議ツール zoom による遠隔会議)への招集通知を評議員らに送信、評議員らは「Zoom」による会議に出席、審議に入った。 1. 議長選任の件、全評議員一致して金児慧評議員を議長に選出。 2. 理事長より令和3年3月および令和3年6月開催の理事会の審議の報告があり、全評議員一致してこれを了承。 3. 理事長より令和3年3月21日より同5月末日までの理事長職執行状況の報告を理事会になしたことをその資料を提示して報告、議場はこれを了承された。 4. 令和2年度事業報告書ならびに決算書類をウェブ会議「zoom」によって画像上に掲示し、評議員らはこれを慎重に確認、事業報告、決算書類を承認した。

ウ 委員会

(1) 選考委員会

電子メールにて、令和2(2020)年9月29日遠隔(メール)による選考委員会を案内、6月28日までに返信を受けるという遠隔会議を開催、令和2年度助成申請について審査し助成額を決定した。助成額は〔表1〕に示すとおりである。

(2) 編集委員会

前期より引き続いて欧文ジャーナル『Shin Buddhist』第12号の編集作業にあたり、令和2年7月29日14:00~16:00に第1回を、ウェブ会議ツール「Zoom」にて開催、その後も、編集会議代表の石田法雄のもと、電子メールなどによってジャーナルの校正作業を進めたが、新型コロナウイルス感染症の蔓延などもあり、編集作業は遅延、次期(令和3(2021)年度)に入って発刊することとし、出版社に完全原稿(電子データ)を送付し終えた。

4. 主管官庁の許可・認可及び承認を受けた事項

当該事項なし。

5. 行政官庁指示に関する事項

内閣府による立入検査を令和2年1月30日に受け、「選考委員会」など実働している委員会のほか、事業報告に名称を挙げている「実行委員会」などの規定、「就業規程」「会計規程」「印章規程」「資産運用規定」などについても、これら諸規程を設置するよう、指示があった。次期には、それら諸規定の設置および理事会等の運営に関して指示された事項を、整備する計画である。そのほかについて、当該事項なし。

6. 契約に関する事項

当該事項なし。

7. 寄附に関する事項

当期内の当協会支援のためとして受領した寄付金は下記の通り。(単位:円)

寄附の目的	寄 付 者	申 込 金	領 収 額	備 考
基本財産・事業推進のための支援	民間助成金（本派本願寺）	1,000,000	1,000,000	
	善興寺ダーナ基金様 (100,000-) ほか、合計2件	113,000-	113,000	
寄 付 金 合 計		1,113,000-	1,113,000-	

8. その他の重要事項

当該事項 なし。

以上、令和3(2021)年度事業報告(了)